

沖縄・・・それは憧れの地。きっと、一生行くことのない未知の世界。

青い海、広い空、遠い遠い・・・素敵なところ・・・。

ずっと、そんな風に思っていました。いえ、「あきらめていました」と言うのが、本音でした。

そんな私が、行って来ました沖縄へ！ 2013年7月の事でした。

東京の旅行会社が主催する「アレルギー対応ツアーin 沖縄本島 南城市」は、アレルギーとなる食材のうち、「10品目を完全除去したお食事を提供して下さる」と言う、前代未聞のツアーでした。しかも、調味料レベルまで検査をして、アレルギーが検出されなかった事を確認する、と言う徹底ぶり。「ここまでやるか？」と言うのが、正直な感想でした。

あ、すみませんご紹介が遅れました。私の子供、小学4年生。重度の食物アレルギーと、喘息があり、国立病院を定期受診。医師の指導のもと、食事制限をしています。給食は食べられません。保健室でエピペンを預かっていただき、毎日お弁当持参で登校しています。

アレルギーがあると、みんなが当たり前に来ること、外食すること、旅行することが、簡単には出来ません。ましてや、飛行機での旅行なんて、夢のまた夢。沖縄には一生行けないと思っていました。

そんな私が、実際に行くに決めた一番の理由は「サポート体制が万全だったこと」です。ホテルやレストラン、飲食店のアレルギー対応には万全を期すと同時に、万が一に備えて、病院、医師、消防署、観光協会、自治体と、多くの方々の見守りがありました。

事前の問い合わせの際も、私の疑問や不安に、とても丁寧に親切に対応して下さいました。

その場で解らないことは、ホテルやレストランに問い合わせして下さい、正確な情報を提供して下さいました。

もちろん、誤食や事故もなく無事に過ごせました。アレルギーっ子同士、楽しい時間が過ごせたこと、素敵なお思い出になりました。辛いのは自分たちだけじゃないって、みんな頑張ってるんだって、改めて感じました。

不思議ですね、初めて会ったはずなのに子供達、ず〜っと前から仲良しのように、とっても仲良く遊んでいました。母も同じ。1回会っただけなのに、とっても大切な人になっている。きっと・・・、人それぞれアレルギーの症状や程度は違っても、基本の部分の辛さや悲しみや悩み、我が子の命を守るために、一生懸命に頑張っている、という事は全てのアレルギーっ子ママの共通点なのだと思います。

沖縄へ旅行出来た事が嬉しかったのはもちろんですが、そこで出会った沖縄の人々の優しさや、同じアレルギーを持つ子供と親との出会いは、『理解されにくい、目に見えない、食物アレルギーと言う病を乗り越えて行ける、元気と勇気を頂いた』そんな、貴重な体験を親子でさせて頂きました。

たくさんの方々のお世話になり、素敵な沖縄へ旅行出来たこと、感謝の気持ちでいっぱいです。現地の方々、アレルギーっ子友達と、沖縄での再会を約束して、思い出に残る楽しい旅から帰って来ました。真夏の碧い空と海、笑顔の花がいっぱい咲いていた沖縄。さあ、次はいつにしましょうか？夏休みが待ち遠しい今日この頃、です。